

<p>調 査 研 究 審 議 の 経 過</p>	<p>1 審議経過の概要</p> <p>(1) 審議の対象となった発行者名及び数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京書籍、帝国書院の 2 者 <p>(2) 調査研究の手順</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第 1 回調査委員会(6 月 2 6 日)で 2 者の教科書を配布し、調査の観点や手順を協議した。 ・第 2 回調査委員会(7 月 1 5 日、1 6 日)に、各自の調査研究を基に内容別に協議し、様式 1 について整理するとともに、全体を通して各者の特徴をまとめ様式 2, 様式 3 を作成した。 <p>(3) 調査研究のための観点、項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取扱内容については、各学年の目標を達成する上で、どのような学習活動が取り上げられているか、又、「地域の人々の社会生活の様子」や「我が国の国土や産業に関する社会事象」、「我が国の歴史と政治及び国際社会に関する社会的事象」をより具体的に把握するために地図や年表、具体的資料が活用、探究しやすいものになっているかという視点で調査し整理した。 ・内容の程度・排列・分量等については、地図や資料等に多様性や活用性があり系統的、発展的に学習できるような工夫がされているか、前回とも比較し適当な分量であるかという視点で調査し整理した。 ・使用上の配慮については、今日的な課題の取り扱いはどうか、児童が学習意欲をもって主体的に取り組めるような工夫がなされているか、又、使用上の便宜がどのように図られているかなどという視点で調査し整理した。
<p>全 体 を 通 じ て の 特 徴</p>	<p>2 審議経過の概要</p> <p>(1) 東京書籍については、日本列島を大きくとらえ、都道府県の位置と名称がよくわかること、拡大図や 3 ページ大の全図などを設け、特色ある地域の地形、気候、産業、位置がよくわかる構成であること、地図の約束や標記の仕方を巻頭に掲載し、児童が困った際は、振り返られるような工夫があること、地図の活用を促す言葉を掲載し、児童が主体的に学習を進められるような工夫があることなどの特色があり、優れている。</p> <p>帝国書院については、全編を通して、赤色の都道府県名に黒いふちどりを付した文字が見やすいこと、都市部の拡大図、鳥瞰図、イラスト等の多様な表現を用いて、地形の特徴や都道府県などの地理的位置関係、都市と産業、地域の結びつきなどが捉えやすくなっていること、「ノートコーナー」で理解を深める説明や解説、作業を指示しており、児童が主体的に学習に取り組めることなどの特色があり、優れている。</p> <p>(2) このほか、両者とも「キャラクターのセリフ」により地図の活用の着目点を示すことで、グラフや写真等が見やすくなったなどの話題も出されていた。</p>

地図(社会)の目標等について

【教科の目標】

(社会の目標)

社会生活についての理解を図り、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育て、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。

【学年・領域等の目標など】

[社会・第3学年及び第4学年]

- (1) 地域の産業や消費生活の様子、人々の健康な生活や良好な生活環境及び安全を守るための諸活動について理解できるようにし、地域社会の一員としての自覚をもつようにする。
- (2) 地域の地理的環境、人々の生活の変化や地域の発展に尽くした先人の働きについて理解できるようにし、地域社会に対する誇りと愛情を育てるようにする。
- (3) 地域における社会的事象を観察、調査するとともに、地図や各種の具体的資料を効果的に活用し、地域社会の社会的事象の特色や相互の関連などについて考える力、調べたことや考えたことを表現する力を育てるようにする。

[社会・第5学年]

- (1) 我が国の国土の様子、国土の環境と国民生活との関連について理解できるようにし、環境の保全や自然災害の防止の重要性について関心を深め、国土に対する愛情を育てるようにする。
- (2) 我が国の産業の様子、産業と国民生活との関連について理解できるようにし、我が国の産業の発展や社会の情報化の進展に関心をもちようにする。
- (3) 社会的事象を具体的に調査するとともに、地図や地球儀、統計などの各種の基礎的資料を効果的に活用し、社会的事象の意味について考える力、調べたことや考えたことを表現する力を育てるようにする。

[社会・第6学年]

- (1) 国家・社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた文化遺産について興味・関心と理解を深めるようにするとともに、我が国の歴史や伝統を大切にし、国を愛する心情を育てるようにする。
- (2) 日常生活における政治の働きと我が国の政治の考え方及び我が国と関係の深い国の生活や国際社会における我が国の役割を理解できるようにし、平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きていくことが大切であることを自覚できるようにする。
- (3) 社会的事象を具体的に調査するとともに、地図や地球儀、年表などの各種の基礎的資料を効果的に活用し、社会的事象の意味をより広い視野から考える力、調べたことや考えたことを表現する力を育てるようにする。

【参考】

- 社会科、地理歴史科、公民科においては、その課題を踏まえ、小学校、中学校及び高等学校を通じて、社会的事象に関心をもち多面的・多角的に考察し、公正に判断する能力と態度を養い、社会的な見方や考え方を成長させることを一層重視する方向で改善を図る。
- 社会的事象に関する基礎的・基本的な知識、概念や技能を確実に習得させ、それらを活用する力や課題を探究する力を育成する観点から、各学校段階の特質に応じて、習得すべき知識、概念の明確化を図るとともに、コンピュータなども活用しながら、地図や統計など各種の資料から必要な情報を集めて読み取ること、社会的事象の意味、意義を解釈すること、事象の特色や事象間の関連を説明すること、自分の考えを論述することを一層重視する方向で改善を図る。
- 我が国及び世界の成り立ちや地域構成、今日の社会経済システム、様々な伝統や文化、宗教についての理解を通して、我が国の国土や歴史に対する愛情をはぐくみ、日本人としての自覚をもって国際社会で主体的に生きるとともに、持続可能な社会の実現を目指すなど、公共的な事柄に自ら参加していく資質や能力を育成することを重視する方向で改善を図る。

○ 標準授業時数(社会)

第3学年－ 70単位時間

第4学年－ 90単位時間

第5学年－ 100単位時間

第6学年－ 105単位時間

様式 3

番号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
観点	46・帝国	第4学年 第5学年 第6学年	地図 432	楽しく学ぶ 小学生の地図帳 4・5・6年
取扱内容 各学年の目標、内容等	<p>○ 各学年の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の人々の社会生活の様子をとらえたり、その特色や相互の関連などを考えたりすることについては、都道府県の形や文字、位置に着目したクイズや都道府県の紹介文の作成など、都道府県の位置と名称を学習する活動を通して、地図や具体的資料を活用して調べる活動。 ・我が国の国土や産業に関する社会的事象を具体的にとらえたり、その意味について考えたりすることについては、世界各地の主なまつりや日本と同じ緯度の国を探すなどの世界の国名と場所を覚える活動を通して、地図帳や地球儀、統計等の基礎的資料を活用して調べる活動。 ・我が国の歴史と政治及び国際社会に関する社会的事象を具体的にとらえたり、その意味をより広い視野から考えたりすることについては、今の都道府県の昔の名前を調べる活動や歴史上の主な出来事と場所を探す活動を通して、歴史に関する社会的事象について地図や資料を活用して調べる活動。 <p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、主な地図記号を地図中から探したり、地図上の駅から見た方位や縮尺、高さについて考えたりするなど、地図の表記のきまりについての基礎的な知識・技能を習得させる活動や、地震・火山の災害分布図や防災マップづくりを通して、災害時の身の守り方について実践的に考えたり、十勝平野でどのような作物が作られているか考えたりするなど、習得した知識・技能を活用するための具体的な活動が取り上げられている。</p>			
内容の構成・ 排列・ 分量等	<p>○ 内容の構成・排列については、巻頭の「地図のなりたちとやくそくごと」、「地図帳の使い方」の後に、日本列島を概観する「日本とそのまわり」、都道府県の地方図、都市部の拡大図、「世界の地図」を取り扱うとともに、「資料・統計」を排列し、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○ 内容の分量については、「地図帳の使い方」が6ページ、「日本の全図」が12ページ、「日本の地方図」が32ページ、「世界の地図」が17ページ、「資料・統計」が19ページであり、総ページ数は86ページで、前回と同様となっている。(前回と同様 A B判を使用)</p>			
使用上の 配慮等	<p>○ 写真や絵地図、鳥瞰図、イラスト等の多様な表現を用いたり、流水が流れてくる海岸を確認したりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 「キャラクターのセリフ」によって地図の活用の着目点を示したり、「ノートコーナー」では理解を深める説明や解説、作業を指示したりするなど、主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</p> <p>○ 都道府県や世界の国々の名称と位置関係が分かる3ページ大の地図や地図帳の使い方を示したり、赤色文字の都道府県名や国名には、黒いふちどりを付したりするなど、使用上の便宜が図られている。</p>			
その他				

様式 3

番号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
観点	2・東書	第4学年 第5学年 第6学年	地図431	新編 新しい地図帳
取扱内容 各学年の目標、内容等 学習指導要領の総則及び各教科、	<p>○ 各学年の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の人々の社会生活の様子をとらえたり、その特色や相互の関連などを考えたりすることについては、都道府県の形や文字、位置に着目したクイズや自分が住んでいる都道府県の位置の確認など、都道府県の位置と名称を学習する活動を通して、地図や具体的資料を活用して調べる活動。 ・ 我が国の国土や産業に関する社会的事象を具体的にとらえたり、その意味について考えたりすることについては、地球儀を回転させながら世界の地図とともに世界の主な大陸と海洋の位置や日本の都市と外国の都市の距離を確かめる活動を通して、地図帳や地球儀、統計等の基礎的資料を活用して調べる活動。 ・ 我が国の歴史と政治及び国際社会に関する社会的事象を具体的にとらえたり、その意味をより広い視野から考えたりすることについては、我が国において世界文化遺産や世界自然遺産に登録された場所を探す活動を通して、歴史に関する社会的事象について地図や資料を活用して調べる活動。 <p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、地図上のある地点から見た方向を考えたり、距離について様々な縮尺で計ったりするなど、地図の表記のきまりについての基礎的な知識・技能を習得させる活動や、日本の地形や気候などとの関係から自然災害の起きる要因や防災対策について考えたり、北海道の農産物の生産量について考えたりするなど、習得した知識・技能を活用するための具体的な活動が取り上げられている。</p>			
内容の構成・排列・分量等	<p>○ 内容の構成・排列については、巻頭の「ながめてみよう日本のすがた」「日本の47都道府県」により日本列島を概観した後に「地図帳の使い方」、都道府県の地方図、都市部の拡大図、「世界の地図」を取り扱うとともに、「資料・統計」を排列し、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○ 内容の分量については、「地図帳の使い方」が4ページ、「日本の全図」が14ページ、「日本の地方図」が32ページ、「世界の地図」が15ページ、「資料・統計」が29ページであり、総ページ数は94ページで、前回より21パーセント増となっている。（A B判からA 4判に変更）</p>			
使用上の配慮等	<p>○ 写真や模式図、イラスト等の多様な表現を用いたり、アイヌの人たちのことばに由来した地名を調べたりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 「キャラクターのセリフ」によって地図の活用の着目点を示したり、「資料・統計」では関連して調べるページを示して作業を指示したりするなど、主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。</p> <p>○ 都道府県や世界の国々の名称と位置関係が分かる3ページ大の地図や索引の活用の仕方を具体例を基に示したり、地図中の文字や記号を大きく示したりするなど、使用上の便宜が図られている。</p>			
その他				